

# 企業と博士人材の交流会 《昨年度(2022年度)のご報告》

企業 **43社** (延べ625名)  
 博士人材 **122名** (延べ654名)  
 博士前期\* **11名** ※オブザーバー  
**が参加しました!**

## 第12回 企業と博士人材の交流会

- 日 時 : 2022年7月~10月
- 開催形式 : オンライン



博士人材の採用に関心のある企業と、企業への就職も選択肢の一つとして考えている博士人材が相互理解を深め、就職等につなげる機会として、「企業と博士人材の交流会」をオンラインで開催しました。交流会はPRセッション (PRサイトに企業、博士人材がそれぞれをPRする資料を掲載し、相互に閲覧) と、Web交流セッション (Zoomを使ったオンラインプレゼン) の2部制で行いました。

博士

企業

PR  
セッション



### PRサイトへの資料の掲載と閲覧

博士 122名がPR動画で  
研究と人材アピール

- ・大学の研究について知る
- ・博士を知る、優秀な人材を発掘する
- ・共同研究シーズ発掘も可能

企業 43社が自社PR資料を掲載  
参加博士たちが閲覧

- ・自社をアピール
- ・博士への期待を伝える
- ・インターンシップや求人情報の公開も可能

Web  
交流  
セッション

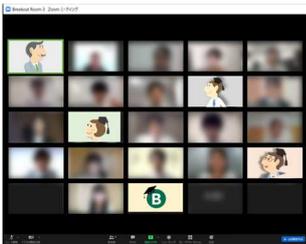


### Web交流の場【博士人材編】: 博士人材から企業の方へのプレゼンテーション

8月22日、24日、25日、26日

博士 122名が順に、研究の価値や概要と自身の強み等をアピール

- ・研究内容や人材について企業から質問
- ・プレゼンに対し企業からアドバイス



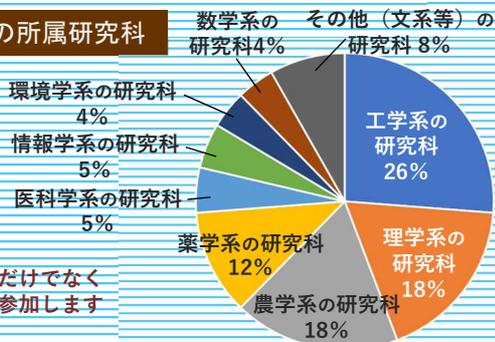
### Web交流の場【企業編】: 企業の方から博士人材へのプレゼンテーション

8月29日~9月2日

企業 43社が順に、自社をアピール

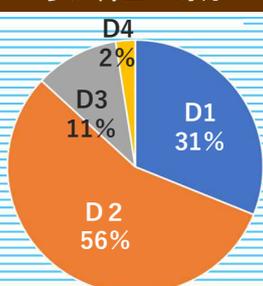
- ・博士への期待、博士の活躍状況を伝える
- ・インターンシップや求人情報を公開
- ・博士たちから質問。博士の新たな企業発掘

### 参加博士の所属研究科

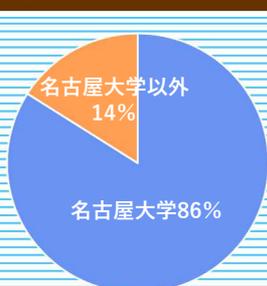


※日本人だけでなく  
留学生も参加します

### 参加博士の身分



### 参加博士の所属大学



見学、インターンシップ、採用、  
共同研究、企業広報など

旭化成(株)、アステラス製薬(株)、(株)アルビオン、(株)ALBERT、エーザイ(株)、(株)エフスタイル、(学)開智学園、快友国際特許事務所、京セラ(株)、(株)クレハ、コニカミノルタ(株)、(株)SUMCO、三桜工業(株)、JSR(株)、昭和電工(株)、Spiber(株)、住友化学(株)、住友金属鉱山(株)、住友ファーマ(株)、セイコーエプソン(株)、第一三共(株)、(株)知能情報システム、TDSE(株)、(株)テクノプロテクノプロ・R&D社、テルモ(株)、東海光学(株)、東京エレクトロン(株)、(地独)東京都立産業技術研究センター、東レ(株)、(株)とめ研究所、(株)豊田中央研究所、(株)トライエティング、(株)日本入試センター、(株)ネオレックス、フジクリーン工業(株)、富士通(株)、(株)マップフォー、三井金属鉱業(株)、三菱ガス化学(株)、(株)モリタホールディングス、山本特許法律事務所、ラクオリア創薬(株)、(株)リバネス

※昨年度(2022年)ご参加いただいた企業

## 参加した博士人材の声

当初は応募を検討していなかったものの、本交流会で出会い、企業主催の交流会に呼んでいただき、本選考まで進んだ企業もありました。自分が関心のある業界だけでなく、幅広く企業を見ることで、視野が大きく広がり納得のいく企業選び・キャリア選択ができると思います。

交流会に参加し、自身の発表を聞きに来てくださった企業に内定をいただきました。本選考の面接の後、交流会の時よりも良い発表だったと言っていた喜びかったです。

通常のオンライン合同説明会と同じような「企業側の話を聞いて学生と質疑応答する」という形式のものは他大学や各種就活メディアでも頻繁に行われていると思うが、「自らの研究内容を企業にアピールする」という経験を、比較的早期（8～9月）に行えるのは他のイベントにない大きな強みだと感じた。研究内容について、自分がアピールしたいポイントと企業から質問を受けるポイントの違いなど、双方の着眼点の違いが判るのは発表者側としても面白いと思うし、それらを通じて、就活だけでなく研究についても新たな知見が得られる上、企業とのコネクションが比較的早期に形成できるのも大きな強みだと考える。

どのような方が働いているのか、雰囲気が伝わり会社を選ぶ際の参考になりました。企業の方に向けたプレゼンを準備する機会でもあり、その後の面接でも流用できた。

人事の方から質問をしてもらえるので、面接の練習になります。（自分のアピールポイントと人事が魅力に感じるところのギャップを知れる）

自身の研究内容に対する企業の生の声を聞くことができ有意義だったと感じます。アカデミック外の方と深くディスカッションする機会はほとんどないので良い経験になった。

普通に過ごしていると、研究室の先輩の就職先や共同研究している企業の情報がしかふれることがなかったので、ここに参加していないとみえない業界を知りました。



## ご参加いただいた企業の方の声

学生の皆様も十分準備して参加された様子が伺えました。多くの学生様とインタラクティブに交流できたと考えます。

学生一人一人と交流できる時間が多く、非常に有意義なイベントだと思いました。

魅力的な学生さんのプレゼンを聴講することができ、非常に有意義な時間でした。専門分野は異なれど、非常に魅力的な学生に多数会うことができ、彼らが（当社も含む）多方面で活躍されることを期待しております。また、質疑応答を通して学生さんの方から、自社のイメージやサービスについてもフィードバックしていただく機会があり、我々としても非常にエンゲージされました。どうもありがとうございました。

私たち企業にとっても、より多くの優秀な学生と出会い、接することができる絶好の機会であり、研究協力者を見つける良い機会だと考えています。次回も、是非とも参加したいです。引き続きよろしくお願いいたします。

段階を踏んで学生様、企業学生双方の情報を丁寧に交換することができ非常に実のあるイベントであったと実感しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

研究熱心な方が非常に多く、優秀な方々ばかりでした。また、ご自身の専門性を高めながら別分野の研究を融合したようなプロジェクトをすすめている方も多い印象を受けました。特に、ご自身の分野に計算科学的な手法を掛け合わせたようなテーマを持っていらっしゃる方が多く、これから必要とされる人材を皆様が分析されているのだと感じました。

若いエネルギーに触れ合えることはとても有意義だと思われるので、引き続きこのようなイベントを期待しております。

